



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：マコーミック米国財務省次官の訪問

(10月30日付現地報道)

10月29日、湾岸訪問の一環として UAE を訪問したマコーミック米国財務省次官の記者会見での発言（概要）。

1. カーシミー経済相との会談

米国・UAE 間の FTA 締結を期待する。ルブナ・カーシミー経済相との会談で、本件交渉において進展があった他、両国の投資環境についても議論を行った。

2. GCC 各国通貨のドル・ペッグ政策

最近の GCC 会合で議論された GCC 各国通貨のドル・ペッグ政策維持の問題について、GCC 連邦準備制度理事会しかコメントできない。

3. 面談相手

カーシミー経済相、スウェイディ中央銀行総裁、ムバダラ開発、アブダビ投資庁関係者と面談した他、29日午後にドバイのムハンマド副大統領兼首相兼ドバイ首長と面談を予定している。

4. 訪問の目的

今回の訪問は、湾岸歴訪の一環で、投資分野に焦点を当てている。米国にとり外国からの投資に対する開放政策の維持が米国経済にとって利益があることはブッシュ大統領も述べていると伝えた他、他方で、この地域において米国の開放政策に関する懸念があることも認めた。加えて、米国は世界の金融市場で特に魅力的な提案をしており、魅力的な投資先であると信じている。米国は海外から 1.9 兆ドルの資金を集めており、投資分野における開放政策を推進している。

5. ドバイ・ポート・ワールド社

この問題が湾岸地域に対して、米国が外国からの投資に開放されていない等の様々な印象を与えたことは理解しているが、既に過去の話であり、ブッシュ大統領により署名された、安全保障と外国からの投資に対し健全なバランスを確保するための法令が議会で承認されている。

6. イラン

今回の訪問でイラン問題についても UAE 側と議論した。米国政府は今回、米国が実施したイラン制裁に関して他国が同様の措置を取ることを期待している。今回の対イラン制裁は、同国による核開発問題を外交的手段により解決を図る目的がある。